

じんげん ア ジ ー ル asile

春夏号
2018
大谷大学広報誌

「現実」に向きあい、「真実」を探求する

「現実」に向きあい、「真実」を探求する

2018年4月、大谷大学は「文学部」1学部体制から、

「文学部」「社会学部」「教育学部」の3学部体制へと変わります。

さらに、新教室棟「慶聞館」も全エリアグランドオープンを迎えました。

そこで、再スタートをきる大谷大学について、学長と学部長3名が対談しました。

3学部体制は変化ではなく、再スタート

木越 今年度から3学部になりますが大谷大学自体や、教育理念が変わるのではなく、それを実現する形を変え、再スタートします。大谷大学の精神をそれぞれの学部がどう表現していくのか楽しみですが、まずは各学部で変わった点を教えてください。

志藤 社会学部は従来の社会学科をより発展させ、人文情報学科の学びを受け継ぐ形で、新しい学部として独立しました。学科を2つおき、そのうち、コミュニケーションデザイン学科には、地域政策学と社会福祉学の2つのコースがあります。もう一方の現代社会学科には現代社会学コースを備え、3種類のテーマに3パターンの学び方をクロスさせ、学生の関心に応じて履修する科目を選べるようにしています。

従来の社会学科のなかでの学び方がより分かりやすくしたいという主旨です。

木越 なるほど。教育学部はいかがですか。

関口 教育学部教育学科のなかに2つコースができ、募集段階から分かれています。小学校教諭免許の取得をめざす初等教育コースと、幼稚園教諭免許と保育士資格の取得をめざす幼児教育コースがあります。これまでは授業という形で単位化していなかった「おおたにキッズキャンパス」を演習形式で授業に組み込み、運動会運営に関するマネジメント能力の習得を目的とする「運動会実践演習」も新設しました。

学部化したことで、幼稚園教諭の免許と保育士資格の両方が取れるようになったのは、幼児教育希望者にとって大きな変化だと思います。

木越 ありがとうございます。では、文学部はいかがでしょう。

井上 人文学を学ぶ根本は変わりませ

んが、現代の高校生の関心が社会学や教育学の取り組みに集まっているという実情に目を向け、真宗学・仏教学・哲学・歴史学・文学・国際文化学の文学部6学科においても、フィールドワークや実習など現場を大切にする授業方法を積極的に導入しています。

そういう意味で哲学科に新しくできた心理学・人間関係学コースでは、現実社会の具体的な課題に迫る形で哲学的問題に取り組んでいきますし、真宗学科の現代臨床コースでも、社会のさまざまな苦難に寄りそう場に触れる機会をとおして、主体的・対話的に親鸞思想を学ぶ姿勢を培います。各学科に新設されたそのほかのコースも、グローバル化した現代社会の現実を重視する方向になつていきます。

木越 行動的な取り組みを行う機会が増えていくということですね。文学研究というと90分の座学のようなイメージがありますが、今は、その枠では収まらない形で授業を展開しているのですね。そういう部分を切り出し、学問の独自性に則しながらもより新しい教育を展開できるようになりましたね。

井上 社会的文脈を重視した現場での学びは大切ですね。そういう意味で、3学部化は文学部での学び方を発展させる良い機会だったのかもしれない。志藤 これまでの文学部社会学科でも2年生からフィールドワークに出たり、専門的な領域を学ぶという流れでした。ただ初年度は共通教養科目が中心でした。

しかし、学部体制が変わったことで、1年生から専門的な授業を取り入れ、入学後すぐに先輩達と一緒にフィールドに出るようなカリキュラムの組立となりました。それに「コミュ・ラボ」という地域連携活動の支援体制もあることで、初年度から入りやすい環境を整えるということは一つの変化なのかなと思います。



社会学部長

志藤 修史 Shushi Shido

専門分野/社会福祉学(地域福祉論・社会福祉援助技術論)。龍谷大学大学院文学研究科修士課程修了。文学修士。1991年社会福祉法人京都市社会福祉協議会就職、2005年同退職。2005年大谷大学文学部専任講師、2008年同大学准教授、2013年同大学教授。



教育学部長

関口 敏美 Toshimi Sekiguchi

専門分野/教育学・教育史。1989年奈良女子大学大学院人間文化研究科比較文化学専攻単位取得退学、1989年大谷大学特別研修員、1991年大谷大学短期大学部専任講師、2002年大谷大学文学部助教、2008年大谷大学文学部教授。



文学部長

井上 尚実 Takami Inoue

専門分野/真宗学・仏教学・宗教学。1984年京都大学文学部(哲学科仏教学専攻)卒業。1991年大谷大学大学院文学研究科仏教学専攻修士課程修了。カリフォルニア大学サンタバーバラ校宗教学部M.A.(1994年)、Ph.D.(2010年)。2003年大谷大学文学部真宗学科専任講師。2010年同准教授。2016年同教授。



学長

木越 康 Yasushi Kigoshi

専門分野/真宗学・宗教学。1985年大谷大学大学院文学研究科真宗学専攻修士課程入学。1990年大谷大学大学院博士後期課程満期退学(真宗学専攻)。1994年私学研修福祉会国内研修終了。大谷大学短期大学部准教授、大谷大学文学部准教授、同大学教授を歴任し、2016年4月より第28代学長。



関口 確かにカリキュラム面では改革だと思っています。それに教育や保育の現場に1年生から体験に行ける授業を作っている大学はあまりなくて、それは大谷大学の特色だと思います。

教育学部でも、1年生から実際にそれぞれの教育現場へボランティアに行く機会を設けています。大学で学ぶことと、実際の現場で知るところを往復する形で、4年間かけて保育者・教育者になっていくことを目指しています。

木越 どの学部も、さまざまに新たな学びを取り入れています。それにあわせて、この4月に全エリアのグラウンドオープンを迎えた慶聞館では、四角い箱のなかで固定された机と椅子という従来型教室は少なくなっています。配置は自由だし、さまざまな形で映像を投影できる機器を設置し、現代的な学修の形にあわせた造りとなっています。在学生のみならずには、さまざまな用途で活用してほしいと思います。

互いに影響しあいながら 生まれる学びあいの精神

木越 はじめから出口を決めて大学に入学することにはメリットもありますが、デメリットもあると思います。

関口 そうですね。教育学部では入口の段階で明確にコースが分かれます。そのため、入学当初から専門に特化した教育ができるので、目的が明確な学生にとってはメリットだと思います。

しかし、教員資格に関して幼稚園か小学校のどちらかの選択を高校生のうちにしなければなりません。そういった面ではデメリットかもしれません。

井上 一方で、はじめから出口を決めず、大学で学んでいくなかで自身のコースを決めていける学部・学科もあります。最後まで迷いながら、ゆっくり自分の学びたいことを決めることが出来るメリットがありますね。

木越 今回の学部改編は、早い段階で自分の将来を考え、目標に向けて学びに取り組むというスタイルに変化した面が強いですが、やはり将来に迷いながら入学し、迷いながら学ぶことも大事ですね。

関口 自分の高校時代を思い返してみると、その時期にやりたいことを決定するのは難しいことかもしれません。

木越 人生のベールになっていく道を探り熟考するという学び方も、大切にしていかなければならないと思いますね。

志藤 コミュニティデザイン学科は、明確な問題意識とやりたいことを決めて入ってきてください、ということを決めて入っています。対して現代社会学科は、逆に何でもいよいよ、どうぞ4年間迷ってください、というコンセプトなんです。ですから、1つの大学のなかで迷える学生と、目標を決めてガンガン進む学生とが混在しながら一緒に学んでいます。お互いにどういう影響を及ぼすのが楽しみなところですね。

木越 そう。刺激になるでしょうね。

井上 どの学生にも、現実と誠実に向きあいながら学ぶという姿勢を持ってほしいです。そこに見出した問題にいろいろ迷いながら、悩みながら大きくなってほしいという思いがあります。

「Be Real 寄りそう知性」

木越 最後に新入生に向けてメッセージをお願いします。

井上 大谷大学の文学部では、「自己とは何なのか」、「何のために生きるのか」といった根本的な問いについてじっくり考えてほしいのですが、その場合「寄りそう知性」ということが非常に大事な方向性を示していると思います。社会のなかで自分のことだけを考えるのではなく、弱い立場にいる人

たち、あるいは苦悩の多い人たちに寄り添って考えられるような大学生として、共に生きる願いをもって社会に出て行ってほしいです。そして、現実にはただ順応していくのではなく、社会のあり方がおかしいところはちゃんと見て、考えて、おかしさを指摘できるような批判的思考を身につけてほしいと思います。

関口 大谷大学では、建学の理念として仏教の精神を大切にしているせいか、さまざまな価値観に対する学生の許容性が高いように思います。寛容さは意識的に育てるものではなく、大学での学びあいのなかで、自然と身につけているのだと思います。また、人間学や仏教の学びのなかでいろんな話を聞いて考える機会は、教員になる過程でもとても大事なことでと思うので、しっかりと学んでいただきたいですね。

志藤 新入生は新しい学部体制の第一期生なので、学内でおこなわれるさまざまな行事や、サークルなどに積極的に参加して、いろんな学部や学科があることを知り、そのなかで自分が所属している学部を、自分たちで作ってほしいと思います。そして、自分の大学や、自分の大学のある地域に愛着を持つということを大事にしてください。愛着はさまざまなものを感じると思いますが、そこで生きている人たち一人ひとりのことを知ることで深まると思うので、そういう機会を4年間の学生生活でたくさん持つてもらえればと思いますね。

木越 みなさんがおっしゃったとおりですね。大学の教職員が学生に働きかけて大学が動くのではなく、学生自身が本学の掲げる「Be Real 寄りそう知性」というメッセージを自分のものとして展開する。そのような形で大学全体を盛り上げてほしいですね。そうすれば必ずキラキラとした学生生活になり、大谷大学になると思います。

学部での学び

教育学部

教育学科
(初等教育／幼児教育)

社会学部

現代社会学科
コミュニティデザイン学科

文学部

真宗学科 歴史学科
仏教学科 文学科
哲学科 国際文化学科

本学の理念をさらに強化し、学びと研究を深めるため、
文学部社会学科と人文情報学科を発展的に統合して「社会学部」に、
文学部教育・心理学科を「教育学部」に発展させ、
3学部9学科で新生を迎え入れることになりました。
それぞれの学部でどのような学びができるようになるのでしょうか。
学部長と在学生3名が、それぞれ共に語り合いました。

文学部での学び

桐山 これまですべての学科の学生が受講していた「人間学」の講義がとても印象に残っているのですが、社会学部や教育学部の学生も同様に「人間学」の授業を受けるのでしょうか。

井上 はい。「人間学」は大谷大学に入學した全員が受ける位置づけになっています。仏教をとおして、人間として社会で生きていくために身につけて欲しいものの見方や考え方の基本を学ぶ、それが人間学です。

桐山 真宗学科では2年生の時に、親鸞が歩いた比叡山に登るという授業があります。テキストを読むだけでなく、実際に現地へ足を運ぶことで学んだ内容はいまでもよく覚えています。今後の文学部でもこういった機会が増えるのでしょうか。

井上 親鸞がそこで何を見て、何を感じながら登ったのか、それを考えてほしいという実施している授業ですね。現場へ赴くことで、テキストに書かれた言葉の意味をより深くくみ取ることができると思います。現場を見て、感じて考える。現実の問題をテキストと照らしあわせて考えるという授業を増やしたいと思っています。

桐山 高校までは古典や漢文は苦手ではなかったのですが、1年生の時はテキストに慣れるまで苦労しました。原文のニュアンスを保ちつつ、日本語で周りの人に伝えるのも難しいですね。



文学部長
井上 尚実 先生



文学部 真宗学科
第4学年
桐山 直人 さん



井上 言語は文学部にとって大事ですからね。
桐山 はい。自分の研究する問題が、ほかの分野に繋がりを持つこともあるので、原文のテキストをきちんと読んで、かみ砕いた情報をほかの分野を研究している人にも伝えられるようになります。
井上 そうですね。専門用語だけの世界になりがちですから。だからこそ、さまざまな分野へ視野を広げることが大事になってくると思います。
文学部の研究はどれも、人の本質にかかわる普遍的なものを追究することに通じています。いつどこで暮らしても人としてみんなが考えることを感じることに、ヒューマニティに迫るのが文学部なのです。

社会学部での学び



社会学部長
志藤 修史 先生



文学部 社会学科
第4学年
工藤 早紀 さん

工藤 人文情報学科が今年度からなくなり
ますが、情報を扱った学びは社会学部に引
き継がれるのですか。

志藤 そうですね。統計処理を学んだり、
ホームページやYouTubeなどのメディアで
発信することを学ぶといった部分に引き継
がれていきます。

工藤 なるほど。私は「コミュニティデザ
イン学科」で取り組まれる、学外に出て地
域の方にお話を聞き、そこで見つけた課題
の解決についての学びを、現在の文学部社
会学科でしています。「現代社会学科」では
どのようなことができるのですか。

志藤 身の回りのものすべてをテーマにし
て追究できるのが「現代社会学」です。文
献を見たり、統計的に調べたり、フィール
ド調査に行ったり…、さまざまな研究の手
法を組み合わせて、社会がどうなるのか、自
分たちの生活にどう関わってくるのかを考
えます。

工藤 大学の外に出て実際に見たり聞いたり
することで、社会のリアルを学ぶことが
できるので、フィールド調査は面白いと思
います。

志藤 社会学部では、大学の外に出て学ぶ
機会が第1学年からたくさん用意されてい
ます。工藤さんは、実際にフィールド調査
を経験してどうでしたか。

工藤 私が1年生の時は、希望者だけが参
加していました。外に出るだけでなく、事



前準備や事後のまとめもあるので90分の授
業だけではおさまりきれませんでした。行
事によっては土日も地域へ行っていました。
実際に地域へ行ってみると大歓迎してもら
えることもあれば、取材を断られることも
ありました。今では何を言われても、いい
意味でそつと流せるように強くなれました
ね。

志藤 たくましくなりましたね。地域は一
人ひとり違う人が集まってできているので、
こちらの思いどおりに進むことはほぼあり
ません。しかし、さまざまな失敗が経験と
してあるからこそ、自由に活動できるよう
になります。なので、怖がらずに、どんど
ん失敗を経験してほしいですね。

教育学部での学び



教育学部長
関口 敏美 先生



文学部 教育・心理学科
第4学年
守野 あかり さん

守野 文学部教育・心理学科が教育学部教育
学科になることによって変わったところは
ありますか。

関口 学部化で、小学校教諭免許取得をめざ
す初等教育コースと幼稚園教諭免許・保育
士資格の取得をめざす幼児教育コースに募
集段階からコース分けされたことです。

守野 私は教育・心理学科への入学当初、
小学校教諭と幼稚園教諭の免許を両方取得
したいと思っていたのですが、授業がパン
パンで…、今は小学校教諭一本に絞ってい
ます。最初から目標をひとつに定めていれ
ば集中して勉強できそうですね。

関口 そのとおりです。資格を複数取りたい
気持ちはわかりますが、将来の自分に必要
な資格に絞って知識や技術をしっかりと身に
つけてほしいと思っています。教育学科で
は入学時からコース分けをするので、1年
生から自分の選択する分野の専門的な勉強
をすることができます。

守野 今思えば1年生の頃から教員採用試
験に必要な講義ばかりでした。それを念頭
に置いて聞いていれば良かったなと思っ
ています。講義以外にも、実践的な模擬授業
などがあって、先生としての話し方といっ
た基礎的なことから学んでいきました。

関口 座学だけでは得られないことがありま
すよね。初等教育コースは人数も多くはな
いので模擬授業をする回数も多いですし、
両コースとも1年生から、学校ボランティア



アや保育ボランティアで現場を体験する授
業がありますからね。

守野 私は1年生のころに授業でボランテ
ィアに参加した学校で、今もボランティア
を続けています。参加するなかで、子ども
たちのさまざまな言動を受け入れる力がつ
いたのではと感じています。現場の先生方
の対応力はすごいですね。勉強になること
ばかりです。

関口 理論と技術、どちらも大切です。授
業で学んだことをボランティアに生かし、
ボランティアで経験したことを模擬授業や
模擬保育にフィードバックする。これを繰
り返して、現場で活躍する先生に必要な力
を身につけていってください。

慶聞館 2018年4月全エリアグランドオープン

ユニバーサルデザインへの配慮と自然エネルギーを活用した、学生の主体的な学びをサポートする教室棟



慶聞館は、誰にとっても使いやすい「ユニバーサルデザイン」を念頭に、館内各所に自然エネルギーを活用するなど、環境や省エネに配慮しています。

1階中央部には、学生ロビー「ミニマイル・プラザ」を配置し、学生のさまざまな学びや活動をサポートする多目的スペースとして利用できます。そのまわりには、学生支援部事務室（学生支援課・教務課・キャリアセンター）をはじめ、学習支援室（LEARNING SQUARE）、語学学習支援室（GLOBAL SQUARE）、文藝塾などの学生生活のサポートセンターやカフェを設置しています。

また、2〜5階には、ガラス張りである開放的な教室が並び、情報系教室や教員の個人研究室も配置しています。学生が自由に利用できるマルチスペース（マルチ・サブゼミ・コモン）なども多数備えており、学びに応じてさまざまな使い分けが可能です。

教室

1F 大教室（スロープ教室）

慶聞館では、全教室にプロジェクタを設置し、全館のWi-FiをはじめとするLAN設備やさまざまなデバイスを扱うAV設備と什器を充実させ、さまざまなスタイルの授業に対応できるように整備しています。

300人収容の大教室を2室配置し、授業のほか、シンポジウムなどが開催できるよう対応しています。前方にあるプロジェクタや黒板を後方から見た際の視認性を向上させるため、室内は傾斜をつけて設計しています。さらに、車イスを利用した方でも最前列の教壇まで円滑に移動できるようバリアフリーにも対応しています。



3F セミナールーム

2F ディスカッションルーム

教室にある5台のプロジェクタのうち、1台は教室前方に投影する教員用、残り4台はそれぞれの個別映像を投影することができます。グループワークはもちろん、遠隔地とのディスカッションの模様と教室内の資料を、プロジェクタで個別に指定して投影することも可能です。

教室にある2台のプロジェクタで同じ映像を左右両面に投影したり、2グループの映像を個別に投影することが可能です。また、グループディスカッションの際には、教室内で一人掛の机を自由に移動させることができます。



マルチスペース（マルチ・サブゼミ・コモン）

マルチスペースは、グループワークや輪読会、ミーティング、模擬授業、模擬プレゼンテーションなど、正課授業以外のさまざまな学びをサポートしています。机やイスのデザインが場所ごとに異なるので、お気に入りの場所を見つけて利用する学生もいます。

マルチスペース



サブゼミスペース



コモンスペース



1F 文藝塾・学習支援室・語学学習支援室

詳細は7, 8ページをご覧ください。

文藝塾



学習支援室



語学学習支援室



伐採樹木を活用した什器

大学の歴史・財産を大切に残すという方針のもと、旧校舎の建築部材や壁彫、慶間館建築のために伐採した樹木は、慶間館内外で活用されています。特に、楠やヒマラヤ杉は、慶間館内のテーブル、ベンチ、スツール、カウンターや書架に姿を変えて、その歴史を継承しています。



トイレ（アロマ・パウダールーム）

慶間館内のトイレはフロアごとに配色やデザインに変化をもたせつつ、バリアフリーに配慮し、1階中央の多目的トイレとは別に、車イスを利用した方が使用できるトイレを各階に設置しています。1階北西角のトイレ（男・女）には、アロマディフューザーも整備しました。また、各女性用トイレにはパウダーコーナーが設置され、1階北西角の女性用トイレにはパウダールームも整備しています。



1F カフェ

焼きたてパンやドリンクメニューが充実しており、唐揚げやフライドポテト、お菓子も販売しています。シーズンメニューのドリンクやジェラート、毎月のペーカリーフェアなど数多くのイベントも実施されます。通常10時から17時まで営業していますので、授業の合間にぜひご利用ください。



響流館連結ブリッジ

教育・研究活動をより機能的に融合させるため、慶間館4階と図書館・総合研究室・博物館・真宗総合研究所などの各研究施設が配置される響流館の3階部分をブリッジで連結させています。



キャンパスウォール・ウッドデッキ

駐輪場は、学生・教職員の安全を確保するため、キャンパスウォールと慶間館で区画し、動線の干渉を回避させるよう整備しています。また、北門からの動線確保として響流館西北側には大階段と植栽によるオープンスペース、響流館西南側にはウッドデッキを整備し、尋源館を中心とするキャンパス全体の空間を演出しています。



学びをサポートする施設

学内には大学での学び・活動の相談施設や資格取得を目指すための施設など、さまざまなサポート施設があります。今回はそのなかから、谷大生であれば誰でも利用できる学びのサポート施設を4つご紹介します。自分の興味や目的にあわせて、お気軽にご利用ください！

慶間館1F 学習支援室

(LEARNING SQUARE)

学習支援室とは、みなさんの学びをサポート（支援）するところです。愛称は、ラーニング・スクエア（学びの広場）。2014年開設後、現在、利用者は年間のべ2000名を超えます。ここでの学びの中心は、英語と日本語表現の基礎知識です。これをしっかりと身につけることによって、レポートやその他の文章、さらには卒業論文を作成する土台の力が養われます。

サポートの方法は個別指導です。英語や日本語表現担当の教員がアドバイザーとして、訪れる学生一人ひとりに助言を与えながら、一步一步、学力の向上を図っていきます。もちろん、他の科目の基礎勉強や、みなさんの目標に沿った学習など、気になる学びについても、自由に、気軽に、安心して相談が受けられます。どんどんご利用ください！

利用したい方へ

- ・ 在籍者ならどなたでも利用できます。予約は不要です。
- ・ 英語などの語学や、そのほか学習上で何か困ったことがあれば、まずは学習支援室（LEARNING SQUARE）に来て声をかけてください。アドバイザーの教員が個別に相談に乗ります。
- ・ 現在、おもに次のような方々が利用しています。
- ・ 英語の授業の予習・復習をしたい
- ・ 第2外国語（ドイツ語、フランス語、中国語など）の基礎を教えてほしい
- ・ レポートやレジュメの書き方を知りたい
- ・ 授業の課題に取り組みたい



・ 各種資格試験（英検・TOEIC・漢検など）の勉強をしたい

また、自習で訪れる人もいます。哲学、仏教学、真宗学、社会学、英文学、チベット文化に詳しいアドバイザーが交代で在室しており、関連する内容の相談にも応じています。

利用の仕方は簡単です。開室時間内であればいつでも入室できます。何でも気軽に相談ください。

開室日時

月曜日～金曜日 10時30分～17時30分

常駐アドバイザー

1～4名（人数は時間帯により変動）

設備

パソコン3台、プリンター1台、辞書類、資格検定用資料（参考書・問題集）、英語読み物など

慶間館1F 語学学習支援室

(GLOBAL SQUARE)

外国語学習サポートとして、授業とは別に7か国語英・独・仏・中・韓などの勉強会を希望者を募って少人数の規模で開き、検定対策や会話練習などをアットホームな雰囲気の中で楽しく学ぶ機会を提供しています。検定試験を受験する学生のために「語学検定試験料補助制度」も実施しています。また、大谷大学に在籍する留学生や近隣の日本語学校で学ぶ留学生に毎週決まった時間に在室してもらい、学生たちの会話練習のお手伝いをしてもらっています。

留学生との交流としては、学生アシスタントを毎年20人ほど募り、交流会を企画してもらっています。これまでスポーツ大会や書初め体験、料理教室などを全学生に参加を呼び掛けて行ってきました。様々な言語で留学生とおしゃべりを楽しむ「外国語カフェ」や、「ヴァージニア工科大学学生研修団との交流会」も毎年開催し、好評です。

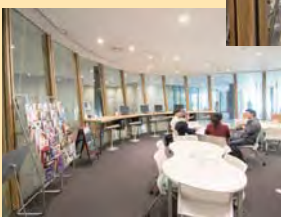
留学サポートでは、留学説明会や学術交流協定校の紹介を行い、個別相談を実施しています。留学前オリエンテーションや留学中の相談など、一人ひとりの目的に合わせたきめ細かい支援を行っています。また、留学を終えて帰国した学生たちの留学体験を聞くためのコーヒーアワーも設けています。

利用したい方へ

主なサポートの内容は以上の通りですが、語学の教材や各種DVDを自由に閲覧することができ、図書・雑誌の貸出しも可能です。自習用のコンピューターも自由に利用できます。また、大きなモニター画面ではBBCニュースやDVDなどを常時流しています。空き時間などに誰もが気軽に立ち寄れるインターナショナルな場として大いに利用してほしいと思います。

開室日時

月曜日～金曜日 10時00分～17時30分
職員が常駐し、勉強会や各種イベント、留学相談の申し込み、語学検定試験料補助の申請等を受け付けています。



慶間館1F 文藝塾

小説、エッセイ、詩などを読んだり書いたりするのが大好きな人。在学中に小説や詩を創作するのに必要な技術や、知識や根性や集中力を身につけたい人。将来はライターや編集者など文学に関わる仕事をしたい人。そういう人たちのために、本学の「文藝塾」を開設しています。

カリキュラムとしては「文藝塾講義」と「文藝塾実践演習」、これら2つの科目があります。前者は作家・新聞記者・雑誌編集者・コピーライターなど文学やマスコミの現場で日々活動しているプロの方々を講師に招いて、その仕事の実体やコツを話してもらう科目です。講師のお話のあと、聴講者たちがグループワークを行ったり個々に課題に挑戦してみたりすることもあります。後者は小説の創作を主な指標として、独創的な発想力を開拓したり表現力や構成力を磨いたりする、実践的な科目です。さまざまな訓練をとおして創作力を鍛えていきます。

右記2科目の基点となるのが、今春新設された施設としての「文藝塾」です。「講義」や「演習」の聴講者でなくとも、原則として自由に利用することができます。もちろん「講義」や「演習」を履修済みのOBとOGも歓迎します。文学が大好きであれば、そのことだけで「文藝塾」利用者としての第一条件はクリアしていると言って良いのです。

利用したい方へ

- 「文藝塾」にはいくつかの利用に関する規則があります。これは利用者全員に守ってもらわなければなりません。皆さんに直接関わりのある規則は次の通り。
- 1 「文藝塾」では飲物以外の食事は禁止。
 - 2 「文藝塾」所蔵の書籍・雑誌の閲覧は自由。ただし貸出は不可。
 - 3 「文藝塾」では学生有志による読書会・合評会・即興の共作や競作（連詩も含む）などの企画を奨励する。ただし、貸切の利用を希望する場合は予約すること。
 - 4 「文藝塾」では関係教員と個別相談を行うことができる。予約することが望ましいが、教員側に支障がない場合はその限りではない。



響流館1F コミュ・ラボ（地域連携室）

※響流館3Fに分室あり

利用したい方へ

地域連携室（コミュ・ラボ）の開室時間は左記のとおりです。地域連携アドバイザーが常駐しておりますので、関心のある方はお気軽にお尋ねください。

開室日時

月曜日～金曜日
9時～17時（11時30分～12時30分閉室）
※休暇・大学行事等により開室日時が変更になることがあります。

コミュ・ラボの
Facebook
詳しくはこちらから

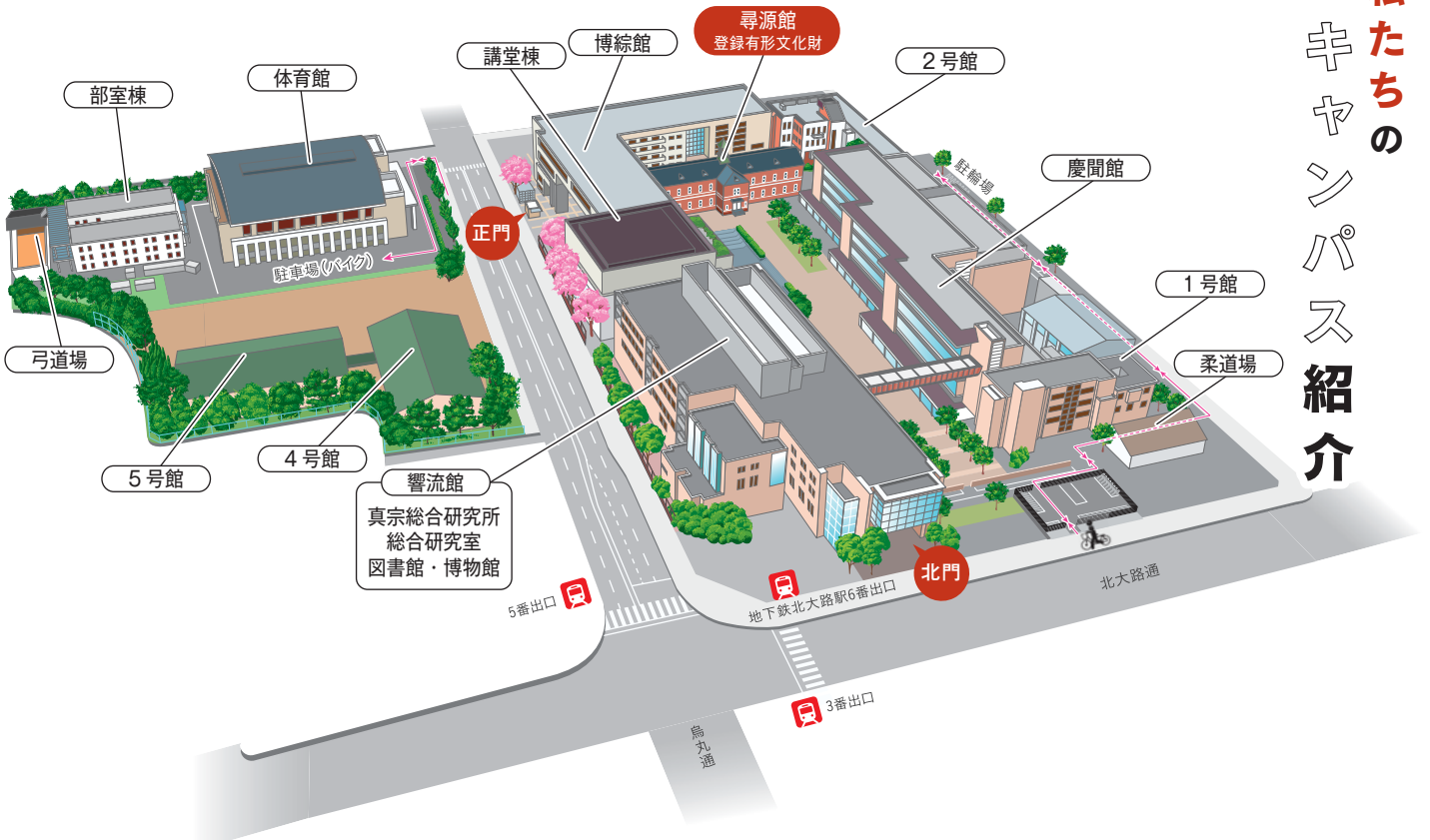


大谷大学は地域連携プロジェクトを展開しています。その活動を支援するのが地域連携室、通称「コミュ・ラボ」です。「コミュ」は、コミュニティとコミュニケーションを意味します。地域のひとびとと学生が、ともに地域課題について考える場（ラボラトリー）になることをめざしています。2015年度に活動を開始し、京都府内を舞台とした地域連携プロジェクトの数も徐々に増えてきました。「祇園祭ごみゼロ大作戦」「中川学区の暮らし再発見」「北大路地域情報発信」「聞き取りによる多世代交流を通じた地域活性化（左京）」「子ども・子育て支援」「北部福祉フィールドワーク」「学区まちづくりビジョン策定サポート」など、いずれも京都の地域に飛び出し、さまざまな人びとと交流しながら学びつつ、学生だからこそできる地域貢献を志向する活動です。現在は、文学部社会学科、または、社会学部コミュニティデザイン学科および現代社会学科の正課授業として企画しているプロジェクトが多いですが、「祇園祭ごみゼロ大作戦」のように誰でも参加できるプロジェクトもあります。

各地域連携プロジェクトの活動の具体的な内容は、大学ホームページやプロジェクト成果報告書などで発信しておりますので、それらをご覧ください。また、地域連携プロジェクトである授業については、その旨をシラバスに明記してありますので、ご参照ください。



キャンパス紹介



尋源館 / じんげんかん

1913年に竣工され、2013年に100周年を迎えました。赤レンガの外装が特徴のシンボリック建物です。2階の尋源講堂では、朝の勤行が行われています。

博綜館 / はくそうかん

保健室・学生相談室・人権センター

学生生活における不安や心身の健康、人権に関する相談窓口が集まっています。何か不安があれば、独りて悩まず気軽に訪ねてください。

響流館 / こつるかん

博物館

真宗学・仏教学・哲学・歴史学・文学など、多分野にわたる資料を所蔵し、定期的に企画展や特別展を開催しています。

B1F 2F 図書館

現在、蔵書数は約84万冊以上、特に仏教・東洋学関係の図書や資料が充実しています。2階のカウンターではノートパソコンを貸出し、レポート作成や情報収集に活用することができます。

3F 総合研究室

研究に必要な図書を自由に閲覧することができます。また、助教が常駐し、研究についての適切な助言を得ることができます。

B1F 購買部 (セブンイレブン)

谷大グッズや大学生活で必要な文房具などを購入することができます。

B1F 学内書店 (文栄堂)

教科書や辞書をはじめ、レポート・卒業論文などに必要な大谷大学論文用紙を販売しています。

慶聞館 / きやうもんかん

2018年4月全エリアがグラウンドオーブンしました。5〜6ページに特設ページを設けておりますので、ぜひご覧ください。

1F 教務課・学生支援課・キャリアセンター

大学内の職員室のような場所です。授業や奨学金、資格や講習などについて相談したい時はは窓口へ。

1F 語学学習支援室 (GLOBAL SQUARE)

留学や語学学習、留学生との交流に興味のある学生をサポートする部屋です。詳細は7ページをご覧ください。

1F 学習支援室 (LEARNING SQUARE)

基礎英語や日本語などのリメディアル教育を中心とした個別指導を受けることができます。詳細は7ページをご覧ください。

1F 文藝塾

小説を中心とする創作を通して、多様な文学作品を書きこなすことのできる高度な文章作成能力の養成をサポートします。詳細は8ページをご覧ください。

4号館

1F 教職支援センター

教員免許の取得や教育実習について相談にのってくれる頼れるアドバイザーがいます。教員採用試験に関する資料も多く、パソコンも使用できるので教員をめざしたい方はぜひ利用してください。

部室棟

部室棟には各クラブの部室が一同に集まっています。気になるクラブがあれば、学生手帳に部室の場所が載っているので、ぜひ訪ねてみてください！

キャンパスカレンダー

4月

- 入学式・オリエンテーション
- 前期授業開始
- Web聴講登録
- 若葉祭

5月

- 宗祖誕生会

6月

- 「卒業論文」
- 「卒業論文」
- 題目届提出

7月

- 前期定期試験

8月

- 夏期休暇

9月

- 集中講義
- 後期授業開始
- Web聴講登録修正

10月

- 開学記念日

11月

- 学園祭「紫明祭」
- 大学報思講
- 「卒業研究」提出
- 「仏教科・幼児教育保育科」

12月

- 冬期休暇

1月

- 「卒業論文」提出
- 後期定期試験
- 卒業論文口述試験

3月

- 卒業証書・学位記授与式

Our teacher

私たちの先生

ゼミの学生4人が赤瀬先生を紹介してくれました。



文学部 文学科 教授
赤瀬 知子

専門／国文学（王朝・中世の和歌と歌学）
1955年滋賀県生まれ。1983年京都大学大学院文学研究科博士後期課程単位修得退学。
1987年大谷大学短期大学部助手、1993年同講師、2003年同助教、2007年同准教授、
2009年大谷大学文学部准教授。2016年同教授、現在に至る。



赤瀬ゼミでは、中古すなわち平安時代文学のゼミとして、おもに古今和歌集を読んでいます。古今和歌集は源氏物語にも大きな影響を与えた歌集であり、それだけでなく、わが国の一千年の諸文化のトップに立ちつづけた、たいへん重要な歌集です。ゼミでは、そうした古今和歌集のなかから、一人二首程度の和歌を割り当ててもらい、その和歌で使われている言葉を辞書で丹念に調べ、発表しています。平安時代の美意識や、日本人のこころの原点を追究できるゼミです。

先生の授業の特徴は、調べてきたことに対して足りない部分の解説はもろろんのこと、そこから派生する話も数多くしてくださるので、知識が増え、どんどん興味の幅が広がっていきます。そして、分からないことを質問すると直接的に答えを教えてもらえる時もありますが、「こういう文献を当たってみたらいいよ」という間接的なアドバイスをくださ

ることが多いので、自分自身で調べて新しい発見をする楽しさを学ぶことができます。また、授業に入る前にしてもらえらる小話ですが、なんてことのない日常の話なのですが、クスリと笑えるのでいつも楽しみにしています。

先生の企画により開催されるゼミコンパでは、誰よりも楽しんでいる（？）先生の姿をみて、学生みんなも自然と楽しくなります。そんな雰囲気のおかげでゼミ生同士がどんどん仲良くなりました。そして、課題や卒論に取り組むなかで、自分と異なる作品を扱うゼミの仲間との会話から、他分野の知識や別の視点からのアドバイスを得ることができると、研究の面でもプラスになりました。これは、先生を中心とした笑いの絶えないゼミの空気感のおかげだと思います。

私たちの視野や知識を広げてくださる、やさしくオシャレな先生です。



文学部 赤瀬ゼミ（第4学年）／三橋 琴未 菅野 みのり 村田 茜 富田 小友実
※学年表記については2017年度のもです。

先生から学生たちへのメッセージ

大学時代、論文を書く心得として「一つでいいから新しいことを書きなさい」また「人の批判をしてはならない。何かを教えられたのだから」と恩師から教わりました。優秀な学者で研究に邁進しておられる姿は、近寄りたいたい印象でした。古い師弟関係でしたが、今でも論文を書こうとするたび、その2つの教えが思い出されます。

もちろん研究や教育の社会に果たす役割が昔とは大きく変化することは承知しながらも、学生たちの心に将来まで残るようなメッセージをはたして自分は発信できたのだろうか、とふと思います。日々の慌ただしい暮らしをなかば自責の念で振り返りつつ…。

人生の指針とまではいかないにしても、せめて勉強する時に大谷大学で学んだ何か、さらにゼミでの学習が生かされれば有難いように思います。学ぶ楽しさ、謙虚に学ぶ姿勢、心豊かな人。たとえ社会に出て環境が変わっても、どうか学びつづけてもらいたいと切に願っています。



Pick UP!

クラブ活動

好きなこと、新しい可能性にとことん夢中になってみよう。

心から夢中になれることって、そんなにない。だから見つかったら、納得のいくまで追求してみよう。学生時代は、そんな気持ちを大切に育て、たくさんの友達と共有できる時。

「好き」ということに、とことんこだわると、あなたの人生はきっと豊かになる。



演劇部

部員数：10名（男5名・女5名）
活動日：週3回（月・水・金曜）
顧問名：川端 泰幸

演劇部は年4回程度、多目的ホール（講堂棟3階）で公演を行っています。

通常は週3回で活動し、本番が近づいてくると毎日稽古を行います。夏に開催された2017年京都学生演劇祭では2位を受賞しました。稽古は絶対休んではいけないというわけではないので、アルバイトや学業との両立も可能です。

舞台に立ちたい人、裏方だけをしたい人、関わり方は人それぞれです。演劇に少しでも興味があればぜひ見学に来てください。



主な年間スケジュール

- 4月 新入生歓迎公演（上旬）
- 7月 夏公演（上旬）
- 8月 京都学生演劇祭（下旬）
- 12月 冬公演（上旬）
- 2月 卒業公演（下旬）

アメリカ民謡研究部

部員数：34名（男13名・女21名）
活動日：週5回（月〜金曜）
顧問名：藤嶽 明信

私たちアメリカ民謡研究部はブルーグラスというジャンルに取り組みながら日々活動をしています。

ギターやベース、フィドルなど馴染みのある楽器から、バンジョー、マンドリンなどブルーグラスならではの楽器もあります。

近年は小学校の夏祭りでのステージ演奏や商店街ライブなど地域活動も行っています。

アメリカ民謡研究部の部員のほとんどが大学で初めて手にした楽器を使って演奏をしています。経験者は勿論、初心者も大歓迎です。私たちと一緒に音楽を楽しみましょう！



主な年間スケジュール

- 4月 新歓コンサート（下旬）
- 6月 美星フェス（上旬）
- 7月 セタコンサート（上旬）
- 8月 夏合宿（下旬）
- 10月 岐阜フェス（中旬）
- 11月 紫明祭（中旬）
- 12月 定期演奏会（上旬）
- 1月 冬フェス（上旬）
- 2月 新春コンサート（中旬）
- 3月 春合宿（中旬）

2017年度秋季大会等結果

※学生の学年は、大会時のものです。

卓球部

平成29年度関西学生卓球 秋季リーグ戦 開催日：2017/9/6～9/16
 男子 4部Bブロック2位/女子 4部Bブロック5位
 第124回京都卓球連盟クラス別単&混合複卓球大会 開催日：2017/6/24
 男子 B級1ゾーン2リーグ2位：大坪 公貴/歴史学科第3学年
 B級6ゾーン1リーグ2位：原田 悠平/哲学科第2学年
 C級7ゾーン2リーグ2位：紀村 尚哉/教育・心理学科第3学年
 D級2ゾーン2リーグ2位：足立 守/人文情報学科第2学年
 女子 C級7ゾーン1リーグ2位：柴野 朱音/歴史学科第3学年

陸上競技部

第76回滋賀県陸上競技選手権大会 開催日：2017/7/8
 兼 第72回国民体育大会選手選考会
 男子 三段跳6位：西村 大成/教育・心理学科第1学年
 女子 400m4位：中島 里菜/文学科第1学年
 第55回京都スポーツ祭典陸上競技大会 開催日：2017/8/27
 男子 400m4位：森元 大道/仏教学科第3学年
 女子 100m3位：中島 里菜/文学科第1学年
 第37回宇治市陸上競技選手権大会 開催日：2017/9/3
 男子 400m5位：森元 大道/仏教学科第3学年
 女子 400m3位：中島 里菜/文学科第1学年

空手道部

第37回全京都空手道選手権大会 開催日：2017/5/5
 組手の部一般男子段外 準優勝：久保 駿哉/社会学科第3学年
 組手の部一般男子 3位：元平 雅仁/歴史学科第2学年

硬式野球部

平成29年度京滋大学野球連盟 秋季リーグ戦 開催日：2017/9/2～10/14
 1部4位
 ベストナイン 外野手：守重 宏紀/仏教学科第1学年

バスケットボール部

平成29年度関西学生バスケットボール連盟 リーグ戦 開催日：2017/8/26～10/14
 男子 5部3位

バレーボール部

2017年度関西大学バレーボール連盟 秋季リーグ戦 開催日：2017/9/10～10/29
 男子 7部2位

バドミントン部

平成29年度関西学生バドミントン連盟 秋季リーグ戦大会 開催日：2017/9/11～9/19
 男子 3部4位/女子 5部Bブロック2位



卓球部は、春・秋のリーグ戦での昇格を大きな目標として練習に励んでいます。活動は、体育館1階練習室1で行っています。OBの方たちが来てくださり、プレーの改善点を指摘いただきました。充実した練習ができています。

また、卓球部には経験者だけでなく、初心者も入部しています。大学から始めたという人も、日々の練習の成果を発揮し、大きな試合でも勝つことができました。少しでも卓球に興味があれば、ぜひ一度練習にお越しください！

卓球部

部員数 … 13名(男9名・女4名)
 所属団体 … 関西学生卓球連盟/京都卓球協会
 活動日 … 週4回(月・水・金・土曜)
 活動場所 … 大谷大学本部キャンパス体育館
 顧問名 … 三木 彰円

主な年間スケジュール

- 4月 卓球新人大会・関西学生卓球連盟(中旬)
 /春季リーグ戦・関西学生卓球連盟(下旬)
- 6月 関西学生卓球選手権大会・関西学生卓球連盟(上旬)
- 8月 全日本大学総合卓球選手権大会(個人の部)・関西学生卓球連盟(中旬)
- 9月 秋季リーグ戦・関西学生卓球連盟(上旬)
- 11月 会長杯争奪卓球大会・関西学生卓球連盟(上旬)



私たちはスポーツチャンバラ同好会は、学生大会や、地方大会に向けて週に2回練習に励んでいます。

小太刀や長剣、二刀など種目がたくさんあり、男女ともに自分の個性をいかせます。

大学に入ってから始めた人ばかりなので初心者でも大丈夫。新しいことを始めたいと思っている人におすすめです。もちろん経験者も大歓迎です。

合宿や大会を通じて他大学と交流があり、京都内はもちろん全国に友達を作ることが出来ます。

見学、体験いつでも受け付けています！

スポーツチャンバラ同好会

部員数 … 30名(男20名・女10名)
 所属団体 … 京都府スポーツチャンバラ協会/全日本ス
 ポーツチャンバラ学生普及委員会/京都ス
 ポーツチャンバラ大学普及委員会
 活動日 … 週2回(火・金曜)
 顧問名 … 田中 潤一

主な年間スケジュール

- 4月 新入生歓迎会(下旬)
- 5月 対外合同BBQ(上旬)
- 6月 京都大交流会
- 7月 関西学生大会
- 8月 京都一武道会 全国合宿(下旬)
- 9月 京都合宿
- 10月 全国学生大会
- 12月 近畿学生大会 大谷杯
- 2月 全国新歓会
- 3月 卒業コンパ

→ その他クラブ活動の詳しい情報は…大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/clubs>

2017年11月7日(火)

文科科学省平成29年度 「私立大学研究ブランディング事業」に選定

本学の取り組みが、文科科学省平成29年度「私立大学研究ブランディング事業(タイプB/世界展開型)」に選定されました。事業名は、「仏教を基軸とする国際的研究拠点の形成と(人間学)の推進」で、事業期間は5年間(平成29年度~平成33年度)です。

「私立大学研究ブランディング事業」は、学長のリーダーシップの下、大学の特色ある研究を基軸として、全学的な独自色を大きく打ち出す取り組みを行う私立大学・私立短期大学に対して重点的に文科科学省より支援がなされるものです。

今回選定された事業では、本学のこれまでの仏教研究の蓄積をもとにして、国際的な研究基盤を形成し、アメリカやヨーロッパ、アジアとの間で共同研究を推進していきます。また、仏教の根幹にある(社会の現実と向き合い、真実を探求し、確固たる生きる拠り所を持つ)という精神に根ざす人文学を、本学独自の(人間学)として社会に開いていきます。こうした研究事業の成果発信を通じて、本学が(人間学)の大学であるというブランド・イメージの確立に取り組んでいきます。

文科科学省 平成29年度私立大学研究ブランディング事業

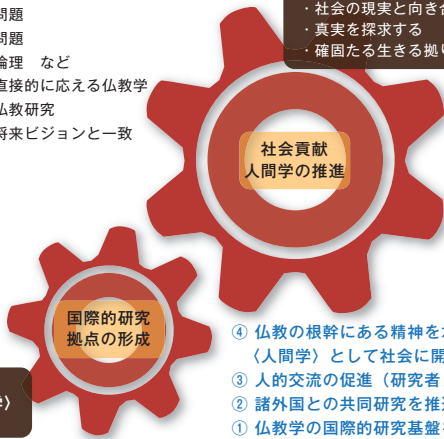
仏教を基軸とする国際的研究拠点の形成と(人間学)の推進

大谷大学の研究ブランディング事業戦略

仏教を基軸とする国際的研究拠点の形成
↓
学術研究の推進：(生の意味喪失)の問題に 대응
↓
(人間学)の推進
↓
【人間学の大学】というブランド

近代合理化によって引き起こされてきた(生の意味喪失)の問題
例 環境問題
人権問題
生命倫理 など
これらに直接的に応える仏教学
=臨床的仏教研究
→大学の将来ビジョンと一致

本学独自の(人間学)
→仏教の根幹にある精神
・社会の現実と向き合う
・真実を探求する
・確固たる生きる拠り所を持つ



- ① 仏教学の国際的研究基盤を形成
- ② 諸外国との共同研究を推進
- ③ 人的交流の促進(研究者・学生)
- ④ 仏教の根幹にある精神を本学独自の(人間学)として社会に開く

2017年9月16日(土)

人文情報学科学学生有志 「PENKI FACTORY Media Works」が 「ROOMシアター賞」を受賞

京都市美術館別館にて開催された「岡崎ときあかりanne x2017」の「岡崎ときあかりアワード」に、文学部人文情報学科学の有志学生で作られた「PENKI FACTORY Media Works」(倉光延行プロデュース)が出場しました。

そこで、天才アーティストKYOTO(特定非営利活動法人 障害者芸術推進研究機構)と共同制作した「Endless Breath」というプロジェクトの作品で、「ROOMシアター京都賞」を受賞しました。人文情報学科学第4学年の芝井勇翔さんと河居健三郎さんは「リーダー」として多くの方と関わりながら1つものものを制作し、完成させたことは将来にどの業界に関わらず活かせる



貴重な経験だったと思います。映像+音楽でまとめる難しさを痛感しましたが、天才アーティストの方々や講義参加学生など助けを得ながら、1つの作品にまとめることができました。それらを評価して頂いたことで、今後の自信に繋がると思いました。受賞の喜びを語ってくれました。今回の受賞作品「Endless Breath」は本学のホームページで閲覧いただけます。

2018年3月24日(土)

文学部文学科学学生が 「言の葉大賞」において受賞

一般社団法人 言の葉協会が主催する「第8回 言の葉大賞」において、文学部文学科第1学年の関谷恭江さんの作品が大学生部門で入賞作品に選ばれました。この「言の葉大賞」は、「生きぬく力」を感じた瞬間(とき)というテーマで小学生から社会人まで幅広い応募があります。今回、関谷さんは「あるセミの死から感じられた生命力」について執筆したそうです。受賞結果を受けて、

「この度の受賞を大変光栄に思っています。文藝塾の授業の一環で応募させていただいた作品で、まさか入賞するとは思いませんでした。私は文章を作るのが苦手なのですが、今回の受賞をきっかけに自信をつけることができました」と受賞の喜びを語ってくれました。

また、関谷さんは高度で応用的な文章作成能力を身につけることができる場として本学に設置している「文藝塾」の授業科目「文藝塾講義」を受講しています。文藝塾についての詳細は8ページをご覧ください。

2017年11月8日(水)・10日(金)

本学と石川県・滋賀県との就職支援に関する協定を締結

本学ではU・Iターンに関して、ガイダンスなどで情報提供を行ってまいりましたが、2017年度は、出身者の多い都道府県に就職支援の強化の可能性について働きかけを行いました。

その結果、11月8日(水)に石川県、11月10日(金)に滋賀県と就職支援に関する協定を締結し、関係を強化することができました。他の都道府県ともこれまで以上に関係の強化に努めてまいります。

なお、石川県との協定締結式においては、石川県にゆかりのある本学同窓生の元真宗大谷学園理事長の熊谷宗恵氏、鈴木大拙館館長で元学長の木村宣彰名誉教授、加賀友禅作家の友野雅子氏にもご列席いただきました。

期待される効果

- ① それぞれの県の企業を招いての学内企業説明会の開催等企業(求人)の新規開拓
- ② インターシップの充実(受け入れ企業の新規開拓)
- ③ 情報収集や情報交換等交流の機会の充実

石川県との協定締結式
(右) 谷本石川県知事 (左) 木越学長



滋賀県との協定締結式
(右) 三日月滋賀県知事 (左) 木越学長



2018年度前期博物館開館予定

※詳細は本学ホームページをご覧ください。

春季企画展

2018年4月3日(火)～5月19日(土)

大谷大学のあゆみ
清沢満之と真宗大学

夏季企画展

2018年6月12日(火)～7月28日(土)

みやこの年中行事(仮)

秋季企画展

2018年9月4日(火)～9月22日(土)

大谷大学と近代宗教学研究(仮)
実習生展併催

2018年度新入生歓迎イベント予定

2018年4月3日(火)～7日(土)

クラブ・サークル紹介 BOXスタンプラリー 若葉祭

新入生の皆さんに4月から充実した学生生活を送ってほしいという願いを込めて、4月3日(火)～7日(土)に、さまざまなイベントを新入生歓迎実行委員会が企画しています。

特に、4月7日(土)に開催する若葉祭では、学内各所で、課外活動団体の紹介やパフォーマンス、ライブなどで盛り上がります。ぜひご参加ください。



キャリアガイド

自らの人生を切り開いていけるよう、キャリアセンターを大いに活用しよう。

就職環境について

2017年度の就職活動は、前年度同様3月1日の広報開始から一斉にはじまりました。また、「短期集中」「売り手市場」以外に「休日・休暇」「福利厚生」など「働き方」が注目されるの開始となりました。選考開始の6月1日以降、早期に内定（内々定）を得る学生は前年度よりも多く、内定を得たことで就職活動を終了する学生が多かったことも特徴的でした。

企業の採用意欲は高く7月以降、秋冬にかけても企業の採用活動は継続されました。

一方で、第3学年以下の学生を対象とした1Dayなどの企業独自の短期間のインターンシップが急激に増えことも特徴的でした。本学でも9月のガイダンスに参加した学生の約3分の1が夏休みを利用してインターンシップに参加しています。

2018年度も、学生有利な就職環境ではありますが、環境に安心せず、早めの準備が大切です。

キャリアセンターの支援について

キャリアセンターでは、自らのキャリアデザインを実現できるよう、学年を問わず、さまざまな支援を行っています。

年度初めのオリエンテーションでは各学年に応じたキャリア支援ガイダンスを行い、目標や行動計画の設定を行うとともに、インターンシップや資格取得の講座の紹介をしています。

特に就職活動中の第4学年の学生に

は、求人情報、企業情報、過去の採用試験情報などの提供、応募書類（履歴書やエントリーシート）の作成面談・添削、模擬面接など、学生一人ひとりに応じた支援を行っています。

また、第3学年からは左ページの就職活動プロセスに基づき、各種ガイダンスなど就職活動に向けての支援を行います。

その他、大学院への進学や短期大学部からの4年制大学への編入など進学についての相談にも応じています。

進路就職システム 「大谷大学就職ナビ」

キャリアセンターでは、進路・就職システム「大谷大学就職ナビ」（進路希望登録が必要）を運用し、大学に届く求人情報、企業情報、ガイダンスや講習など各種支援企画のお知らせを配信しています。これらの情報は、学内外のパソコンだけでなく、携帯電話、スマートフォンからも利用できます。

U・イーターン就職支援 「石川県・滋賀県と就職支援に関する協定締結」

キャリアセンターには、全国の自治体から合同企業説明会やイベントなど求人に関する案内が届きます。また、自治体によってはU・イーターン支援のための補助制度を設けている場合がありますので気軽に相談ください。なお、昨年11月に石川県、滋賀県と就職支援に関する協定を締結しました（キヤンパストピックス参照）。両県よりメッセージをいただいています。

大谷大学のみなさんへ

石川県知事からのメッセージ

「就職支援協定締結によせて」
本格的な人口減少時代を迎える中、地域の活力を維持・発展させるため、若者の地元就職の促進は各県共通の課題となっています。

石川県では、一人でも多くの貴大学の学生に本県で就職していただきたいの思いから、昨年11月、貴大学との間で就職支援協定を締結させていただきました。本県には、高い技術力を持ち、全国トップシェアを誇る企業や、海外にも積極的に事業を展開する企業が数多くあります。今後、貴大学と連携しながら、インターンシップや本県企業の情報など、本県での就職に関する様々な情報提供を行っていきます。

また本県は、共働きでも安心して子育てできる環境や、医療・福祉なども充実している、大変暮らしやすい県でもあります。こうした情報も提供していきます。

ぜひ、本県と本県企業の魅力に触れていただき、石川県での就職について考え、就職していただくようよろしくお願いいたします。

石川県知事 谷本 正憲

滋賀県知事からのメッセージ

「滋賀を成長と活躍の舞台に」
私たちは、琵琶湖と共に生き、人との支え合いを大切にしながら、「滋賀から世界へ、世界から滋賀へ」の視座を持ち、持続可能な共生社会づくりに取り組んでいます。

近畿、中部、北陸の結節点に位置し、大都市につながる高速道路網が発達している滋賀県には、世界で競争する自動車、エネルギー、水環境分野のモノづくり企業や、高い技術力を活かして新しい製品づくりに取り組む地場産業などがあります。県庁所在地の大津から京都まで電車で約10分、大阪までは約40分と大変便利で、身近にある自然の中でさまざまなアウトドアスポーツを楽しめるとともに、知的好奇心を満たす歴史・文化も大きな魅力です。

皆様の活躍の場となる県内企業の情報は、就職支援機関「おうみ若者未来サポートセンター」、企業情報サイト「WORKしが」でお届けしていますので、ぜひご利用ください。

滋賀で自分の可能性に挑戦し、私たちと一緒に未来を創造しましょう。

滋賀県知事 三日月 大造



2018年度 キャリア支援企画

	2018年										2019年									
	3-4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
就職活動プロセス(2020年3月卒業修了予定者)	<p>自己理解 自身が持っている適性や強みを見つけ出す</p> <p>1dayなどの インターンシップ</p> <p>履歴書作成のための個別面談 私の特徴・学生時代に力を注いだこと</p>										<p>業界・企業研究 自身の適性や強みを発揮できる職業・仕事を探す</p> <p>面接実践講座 グループディスカッション・集団面接</p> <p>1dayなどの インターンシップ</p> <p>履歴書用 証明写真撮影会</p> <p>応募先選択 合同セミナー・企業説明会への参加</p> <p>応募書類提出 履歴書・エントリーシート</p>									
	<p>自己発見診断Ⅱ(第3学年対象)</p> <p>進路就職ガイダンス(進路・就職システムの説明・登録)</p> <p>公務員ガイダンス</p> <p>キャリア支援企画・各種講習・研修説明会</p> <p>第1回就職ガイダンス(就職活動のプロセス「就職のてびき」配布)</p> <p>第2回就職ガイダンス(インターンシップ)</p> <p>SPIスタートガイダンス</p> <p>第1回筆記試験対策模試</p> <p>ビジネスマナー講座(基礎編)</p> <p>夏のSPI試験対策講座</p> <p>第3回就職ガイダンス(履歴書作成)</p> <p>第4回就職ガイダンス(業界研究)</p> <p>第5回就職ガイダンス(職種研究)</p> <p>WEBテスト対策ガイダンス</p> <p>面接実践講座事前ガイダンス</p> <p>WEBテスト受検会</p> <p>第6回就職ガイダンス(企業研究)</p> <p>秋のSPI試験対策講座</p> <p>ヘアメイクアップ講座</p> <p>U・ターン就職ガイダンス</p> <p>第2回筆記試験対策模試</p> <p>業界企業研究講座</p> <p>ビジネスマナー講座(応用編)</p>										<p>地域別U・ターン就職相談会</p> <p>志望理由作成ガイダンス</p> <p>筆記試験対策講座(SPI)</p> <p>就活直前集中強化講習</p> <p>就活スタートガイダンス</p> <p>面接対策フォローガイダンス</p> <p>学内合同企業説明会</p> <p>宗教関係就職希望者ガイダンス</p> <p>就職ガイダンス</p>									
就職支援企画	<p>自己発見診断Ⅱ(第3学年対象)</p> <p>進路就職ガイダンス(進路・就職システムの説明・登録)</p> <p>公務員ガイダンス</p> <p>キャリア支援企画・各種講習・研修説明会</p> <p>第1回就職ガイダンス(就職活動のプロセス「就職のてびき」配布)</p> <p>第2回就職ガイダンス(インターンシップ)</p> <p>SPIスタートガイダンス</p> <p>第1回筆記試験対策模試</p> <p>ビジネスマナー講座(基礎編)</p> <p>夏のSPI試験対策講座</p> <p>第3回就職ガイダンス(履歴書作成)</p> <p>第4回就職ガイダンス(業界研究)</p> <p>第5回就職ガイダンス(職種研究)</p> <p>WEBテスト対策ガイダンス</p> <p>面接実践講座事前ガイダンス</p> <p>WEBテスト受検会</p> <p>第6回就職ガイダンス(企業研究)</p> <p>秋のSPI試験対策講座</p> <p>ヘアメイクアップ講座</p> <p>U・ターン就職ガイダンス</p> <p>第2回筆記試験対策模試</p> <p>業界企業研究講座</p> <p>ビジネスマナー講座(応用編)</p>										<p>地域別U・ターン就職相談会</p> <p>志望理由作成ガイダンス</p> <p>筆記試験対策講座(SPI)</p> <p>就活直前集中強化講習</p> <p>就活スタートガイダンス</p> <p>面接対策フォローガイダンス</p> <p>学内合同企業説明会</p> <p>宗教関係就職希望者ガイダンス</p> <p>就職ガイダンス</p>									
授業・講習・講座等	<p>【現代総合科目】キャリアデザイン概論1 (1~4年対象)</p> <p>【現代総合科目】キャリアデザイン実践2 (3~4年対象)</p> <p>インターンシップ1大学コンソ京都 ※エントリー期間:4月中旬~5月初旬 ※就業体験(実習)期間:8月初旬~9月中旬</p> <p>インターンシップ2大谷大学 ※エントリー期間:5月初旬~6月初旬 ※就業体験(実習)期間:8月初旬~9月中旬</p> <p>公務員採用試験受験対策講習</p> <p>TOEIC L&Rレベルアップ講習</p> <p>販売士検定3級受験対策講習</p> <p>MOS(マイクロソフトオフィススペシャリスト)受験対策講習</p> <p>秘書検定2級対応ビジネスマナー講習</p> <p>3級FP技能検定受験対策講習</p> <p>社会福祉士国家試験受験対策講習 ※他大学と合同開催</p>										<p>【現代総合科目】キャリアデザイン概論2 (1~4年対象)</p> <p>【現代総合科目】キャリアデザイン実践1 (3~4年対象)</p> <p>公務員採用試験受験対策講習</p> <p>販売士検定2級受験対策講習</p> <p>MOS(マイクロソフトオフィススペシャリスト)受験対策講習</p> <p>簿記検定3級受験対策講習</p> <p>介護職員初任者研修</p>									
	<p>3年ゼミ別ガイダンス</p>										<p>卒業年次生を対象とした支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内企業説明会 →2019年4月以降・随時 ・社会人準備セミナー →2020年1月中旬 ・ハローワーク出張相談会 →2020年1月下旬 									

※企画・時期については変更になる可能性があります



2018年3月
社会学科卒業
田畑 麗
内定先: 京都中央信用金庫

就職活動体験記

私の就職活動は、3年生の夏に始まりまし。インターンシップに参加し地元経済を支える地域金融機関のやりがいを感じたことがきっかけで、信用金庫職員になることを目指すようになりました。そこから資格対策講座に参加し、日商簿記3級とFP技能士3級の資格を取得しました。

私は四年間で資格取得に向けて努力を積んだことや、硬式野球部でマネージャーを務めさまざまな経験をしてきたことで「自分で考え行動する」ということが自然と身につき、自己の成長に繋ぐことができたと感じています。

大学生生活は長いようにみえてとても短い。限られた時間のなかで、興味のあることにとことん挑戦していく姿勢が大切だと思います。

ライフ Life

ENJOY!



本場のカレーを気軽に楽しもう!

日本人に合わせた本格派カレーをいただくことができる「EARTH CAFE」をご紹介します。一人でも、大勢でも楽しく食事ができます。

地域に愛されるカレー屋さん



くつろいで食事ができるお店

「ゆっくりと食事をしてもらいたい」という店長さんの考えのもとに、各地をまわり、この北大路にお店を出すことを決められたそうです。コンセプトどおり、ずっとお店にいても見飽きることがないような観葉植物や絵、そのほか多くの装飾がありました。座席の間隔もゆったりととられているので、大学での忙しさから離れ、落ち着いた時間を過ごすことができます。民族音楽が流れる店内で、ゆったりと美味しいカレーを味わう。そんな昼休みを楽しんでみてはいかがでしょうか。



なににしますか?

ナンにします

...



スパイスのいい匂い~



老若男女のハートと胃袋をわしづかみ!

ネパールの店長さんが作るカレーと聞くと、本場の辛いカレーを想像しませんか。安心してください。EARTH CAFEでは、本場の良さを残しながらも私たちの好みをとらえた特別なカレーが味わえます。25種類以上のカレーと大甘から激辛まで選ぶことのできる辛さ、バラエティに富んだサイドメニューから、店長さんでも把握することが難しいほど多くの組み合わせを楽しむことができます。そのため、小さなお子様から、お年寄りの方、地域の方々や遠方の方まで、多くのお客さんに愛されています。



大迫力...汗



ベリーダンスのイベントもあるのかあ





今回は、文学部 教育・心理学科第2学年
安田先生のクラスから集まった3名がお送
りします。

※学年表記は2017年度のものです

写真左より

西川 岳良・松山 蒼・福井 潤弥

谷大

Tanidai

担当教員

安田 誠人先生



店長・ACHARY RESHAM さん



地域に根付いたお店にするために

最近流行のSNSなどで宣伝活動を行わず、あえて口コミだけでお客さんを増やしていくことで、地域の皆に愛されるカレー屋さんになったそうです。今では1日に100人ものお客さんがEARTH CAFEのカレーを求めてお店に足を運びます。昼でも夜でも値段が変わらない学生さんセットもおすすめのメニューです。店長さんの愛情と技術が詰まったカレーを食べに、一度訪れてみてはいかがでしょうか。



温かいご主人でした！

おいしかった～



ごちそうさまでした



学生さんセット (1,190円) もあるよ！



今回ご紹介したお店の情報はコチラ！



店名 アースカフェ (EARTH CAFE)
住所 京都市北区小山下内河原町50
交通 北大路駅5番出口から徒歩約2分
営業時間 11:00～22:00
定休日 無休



大谷大学教育後援会文芸奨励賞は、学生支援事業の一環として、大学の学生を対象に文芸作品を募集し、「言葉による表現意欲を奨励すること」を目的に、2006年に創設された賞です。

昨年度は、テーマが「Be Real」ということもあり、「現実」という言葉が使われた作品が多く見受けられました。現在進行形の現実や、過去から現在に至るまでの各自の思いや温もりを、豊かな感情表現を用いて創出された作品や、理想と現実との乖離に悩み苦しんでいる自分自身を表現した作品、表現技法を駆使し、技巧に優れた味わい深い作品、たった1箇所の表現を変えることで、意味が大きく変化する作品など、わずか50文字で、読み手の心に残照を残す個性あふれた作品に出会えたと思っております。

文芸奨励賞は、学生の勉学意欲やチャレンジ精神を高揚する一つの褒賞であり、文科の大学として大きな意義をもつものです。皆様の豊かな自己表現力を発揮する場として、どんどんチャレンジしていただきたいと、心より期待いたしております。

大谷大学教育後援会 会長 三村 智子



文芸奨励賞表彰式

2017年11月25日(土)

最優秀賞

文学部 真宗学科 第3学年

菜原 惟信 (ナハラ ユイシン)

あなたとわたしは同じ人間じゃないが。あなたとわたしは同じ、人間じゃないか。点一つで、人は変わる。

優秀賞

文学部 真宗学科 第2学年

船山 祥汰 (フナヤマ ショウタ)

我生れて年二十 是れを祝い吟杯を撰つ 忘るる勿れ家人の恵を 花の如く未来を歩まん

文学部 歴史学科 第1学年

井本 知佐 (イモト チサ)

初めて起きた私は裸で

現実の中

多くの衣を着た今

その衣たちを知る

そして もとの私を見つける

佳作

文学部 真宗学科 第3学年

渡辺 裕香 (ワタベ ユカ)

我がいのちの慟哭を聞け。 死にたくない 死にたい、死にたくない。 味の濃い酢豚を食う。うまい。生きている。

文学部 真宗学科 第2学年

北畠 章太郎 (キタハタケ ショウタロウ)

できてないから 指導してるのに なんでそんな顔をする。 教えることは 教わるよりも難しい。

文学部 哲学科 第2学年

奥西 文香 (オクニシ アヤカ)

私はまだ、私を知らない。 私はまだ、世界を知らない。 知りたい、分かってほしい。 私を、世界を、そして誰かを。

文学部 教育心理学科 第1学年

神近 維吹 (カミチカ イフモ)

話しかければ返事がある 家に帰れば 食事の準備 掃除 洗濯 一人暮らしをして気づく 親の凄さと有難さ

文学部 仏教学科 第1学年

横田 晴佳 (ヨコタ ハルカ)

この手に収まる液晶の向こうではなく 世界は今、「私」、の目の前にある

文学部 歴史学科 第1学年

井上 貴裕 (イノウエ タカヒロ)

朝起きて 二時間かけて 学校へ 眠い目こすり 授業を受ける。 思い描いた学生と 全く異なる現実

文学部 文学科 第1学年

森 実季 (モリ ミキ)

母は現実 姉は真実 役立つ「私」を求める母 今生きている「私」を求める姉 そして自分は姉のような母を求めている

短期大学部 仏教科 第1学年

鯨島 想太 (サメシマ ソウタ)

「将来 不安」と検索した。 検索画面が私を嘲笑う。 ふと気付く。 ここに答えはないと。

文学部 文学科 第4学年

上橋 真教 (ウエハシ マサユキ)

現実と真理の「間」に 自分という存在を 問いつづける「人」こそが、「人間」として生きるということ。

文学部 教育心理学科 第1学年

咲本 朗 (サキモト アキラ)

真理を探究する前に、目の前の現実を知りて一歩目。踏み出した一歩が真実を追求する力になる。

※学生の学年は、入賞作品発表時のものです。

人事情報

執行部の交代

〔学監・副学監〕

宮崎 健司(再任)

〔教育学士支援担当副学長兼文学部長〕

井上 尚実

(前教育学士支援担当副学長兼文学部長
渡辺 啓真)

〔学生部長〕

浅若 裕彦

(前学生部長 箕浦 曉雄)

〔社会学部長〕

志藤 修史

〔教育学部長〕

関口 敏美

〔天学院文学研究科長〕

滝口 直子

(前大学院文学研究科長 乾 源俊)

〔短期大学部長〕

太田 智子

(前短期大学部長 三木 彰巳)

館長等の交代

2018年4月1日付(各通)

〔図書館長〕

東館 紹見

(前図書館長 山本 貴子)

〔博物館長〕

國賀 由美子

(前博物館長 齋藤 望)

〔入権センター長〕

福島 栄寿(再任)

〔学寮長〕

藤枝 真

(前学寮長 山田 恵文)

2018年4月1日付(各通)

附属幼稚園長の交代

〔幼稚園長〕

竹田 ひとみ

(前幼稚園長 徳岡 博巳)

2018年4月1日付

定年退職

〔教育職員〕

草野 顕之

(教授/文学部/歴史学科)

齋藤 望

(教授/文学部/歴史学科)

徳岡 博巳

(教授/短期大学部/幼児教育保育科)

ハウザープレストン L.

(教授/文学部/国際文化学科)

藤本 芳則

(教授/短期大学部/幼児教育保育科)

大城 邦義

(准教授/短期大学部/幼児教育保育科)

2018年3月31日付(各通)

契約期間満了による退職

〔教育職員〕

岩淵 信明

(特別任用教授/文学部/教育心理学科)

木舩 憲幸

(特別任用教授/文学部/教育心理学科)

高山 芳治

(特別任用教授/文学部/教育心理学科)

延塚 知道

(特別任用教授/文学部/真宗学科)

水島 見一

(特別契約教授/文学部/真宗学科)

井川 利尾

(任期制講師/文学部/教育心理学科)

鄭 祐宗

(任期制講師/文学部/国際文化学科)

藤原 美沙

(任期制講師/文学部/国際文化学科)

矢野 永吏子

(任期制講師/短期大学部/幼児教育保育科)

池末 陽子

(任期制助教/文学部/国際文化学科)

翁 和美

(任期制助教/文学部/社会科学)

志賀 信夫
(任期制助教/文学部/社会科学)

濱野 亮介
(任期制助教/文学部/歴史学科)

三鬼 文知
(任期制助教/文学部/文学部)

宮崎 展昌
(任期制助教/文学部/仏教学科)

掛江 美里
(事務系嘱託)

河野 麻友美(企画入試部)

神田 友恵(教育研究支援部)

橘高 梓(企画入試部)

窪 浩子(教育研究支援部)

塩見 優樹(学生支援部)

段 敦子(教育研究支援部)

福岡 由佳子(教育研究支援部)

水野 友絵(総務部)

宮川 真紀子(学生支援部)

森川 茜音(企画入試部)

三池 大地(貫練学寮)

三池 多笑笑(自灯学寮)

田崎 郁子
(PD研究員真宗総合研究所東京分室)

2018年3月31日付(各通)

依願退職

〔教育職員〕

高瀬 淳也

(准教授/文学部/教育心理学科)

野澤 真樹

(任期制助教/文学部/文学部)

2018年3月31日付(各通)

田中 茂雄
(総務部)

2017年12月31日付

吉岡 由起子
(学生支援部)

2018年3月31日付

新規採用

〔教育職員〕

江森 英世

(教授/教育学部/教育学科)

川北 典子

(教授/教育学部/教育学科)

西村 雄郎

(教授/社会科学部/コミュニケーションデザイン学科)

平尾 良治

(教授/社会科学部/コミュニケーションデザイン学科)

池永 真義

(准教授/教育学部/教育学科)

井上 和久

(准教授/文学部/教育心理学科)

木塚 勝豊

(准教授/教育学部/教育学科)

四方 保仁

(准教授/文学部/真宗学科)

スミザースライアン W.

(准教授/文学部/国際文化学科)

林 正幸

(准教授/短期大学部/幼児教育保育科)

谷 哲弥

(講師/教育学部/教育学科)

渡辺 大介

(講師/教育学部/教育学科)

塩見 知利

(特別契約教授/教育学部/教育学科)

徳岡 博巳

(特別契約教授/短期大学部/幼児教育保育科)

原田 奈名子

(特別契約教授/教育学部/教育学科)

藤本 芳則

(特別契約教授/短期大学部/幼児教育保育科)

松井 玲子
(任期制教授/短期大学部/幼児教育保育科)

大畑 啓
(任期制講師/文学部/歴史学科)

香川 周子
(任期制講師/短期大学部/幼児教育保育科)

古谷 伸子
(任期制講師/社会科学部/現代社会学科)

味村 考祐
(任期制助教/文学部/哲学)

阿部 友香
(任期制助教/文学部/社会科学)

岩本 真利絵
(任期制助教/文学部/歴史学科)

梶 哲也
(任期制助教/文学部/仏教)

野末 幸子
(任期制助教/文学部/国際文化学科)

野村 実
(任期制助教/文学部/社会科学)

服部 徹也
(任期制助教/文学部/文学)

光川 眞翔
(任期制助教/文学部/真宗学科)

鈴木 美佳子
(学生支援部)

鈴木 雅大
(総務部)

三池 多笑笑
(総務部)

宇野 真由美
(総務部)

小本 真由美
(総務部)

垣内 啓子
(教育研究支援部)

北村 文代
(教育研究支援部)

實平 久望子
(企画入試部)

清水 由香里
(総務部)

竹山 佳澄
(企画入試部)

田村 雅子
(教育研究支援部)

八木 麻衣子
(学生支援部)

〔寮監〕

廣田 至(貫練学寮)

谷口 愛沙(自灯学寮)

2018年4月1日付(各通)

昇格

〔教授〕

浅若 裕彦(文学部/文学)

喜多 恵美子(文学部/国際文化学科)

平野 寿則(文学部/歴史学科)

三宅 伸一郎(文学部/仏教)

渡部 洋(文学部/国際文化学科)

〔准教授〕

新田 智通(文学部/仏教)

〔特別契約准教授〕

小川 健一(短期大学部/幼児教育保育科)

2018年4月1日付(各通)

2018年度学費について

納付金は1年分を「前期」と「後期」の2回に分けて、納入していただきます。前期納付金の納入期限は、4月20日（金）。「後期」は10月1日（月）。（「銀行受付日付有効」です。学費納付書は、保証人（学費負担者）宛に4月1日「後期」は9月1日」に大学より発送します。で、納入期日までに納入してください。納入期日までに納入のない場合は、学期により除籍となりますのでご注意ください。

なお、学費納付書が届かない場合や、紛失・破損した場合には再発行いたしますので、財務課までお申し出ください。

また、事情により期日までに納入が困難と予測される場合には、学生支援課において学費延納の手続きを4月20日（金）「後期」は10月1日（月）「までに行ってください。学費延納の手続きには、「学費延納許可願」（所定用紙）が必要となります。ご注意ください。

納付金はこんなことに使われています

● 授業料

【授業】大学において最も重要な事業です。2018年度は、複数学部体制という新しい環境のもとで、学びの実現に向けた授業を展開していきます。

● 学習支援室（LEARNING SQUARE）

リメディアル教育に主眼を置き、学習支援アドバイザーや任期制助教による、基礎英語・日本語の読み書きを中心とした個別指導を行っています。

【文藝塾】高度な読み書き能力を身につけた学生を育成するために設置しています。「文藝塾講義」「文藝塾実践演習」などの文藝塾関連科目を中心に

授業としての活用、また、著名な外部講師を招聘し、課外活動や読書会等を実施していきます。

【教職支援センター】教職課程に関する履修相談や実習等の事務手続きのほか、教員採用試験に向けた学習・補習サポート事業（OK講座や外部委託業者の講習等）、学校ボランティアの紹介や各種手続き、地域連携企画・運営等を担っています。

【地域連携室（コミュ・ラボ）】学生たちが過疎地域などに出向き、さまざまな活動を行う支援や、外部の団体との出会い・対話を通して、社会を生きるためのあらゆる力を養うための支援等を行っています。

【語学学習支援室（GLOBAL SQUARE）】国際交流の拠点として、留学や外国語を学ぶことを通じて、異文化への理解を深めるとともに、世界とのつながりのなかで、学生たちの成長を支援しています。

● 施設設備費

本部キャンパス・湖西キャンパスの各施設の維持管理を行っています。特に、空調設備やAV機器、情報ネットワーク等、学習環境の整備をはじめ、学内食堂やカフェ、トイレなどの福利厚生施設の充実ははかっています。

なお、キャンパス総合整備は、3期工事を終え慶館の北エリアが完成し、2018年4月にグランドオープンしました。慶館4階と響流館3階は「連結ブリッジ」で接続され、学生の学習拠点となる「総合研究室」や「図書館・博物館」への利便性が向上しました。それによって、これまで以上に日々の学習から高度な専門研究まで幅広い学習・研究活動を支援して参ります。

● 教育後援会費

全国各地で開催される保護者懇談会などの事業経費のほか、学生会やクラブ、学園祭等の課外活動を助成しています。また、ゼミやクラスの懇談会への助成や、グラウンド運行バスの助成、学生総合保障や賠償責任保険への加入助成、勤労学生表彰奨学金、文芸奨励金助成等、さまざまな助成を行っています。

● 同窓会費

7月から9月に、全国の支部を巡回する夏季八十講の講演会には、大学から講師を派遣し、大学と協働して大谷大学の学術・研究を公開しています。また、同窓会ホームページや会報「無盡燈」は、タイムリーな情報を提供できるように努めています。卒業・修了ならびに同窓会入会歓迎祝賀会は、在学生が卒業・修了と同時に同窓会に入会し、卒業後も永く

大学との関係を保ち、相互の関係理解を深めてもらうために、お祝いと同窓会入会歓迎を兼ねて催すものです。原則として、最終学年の後期に徴収しています。

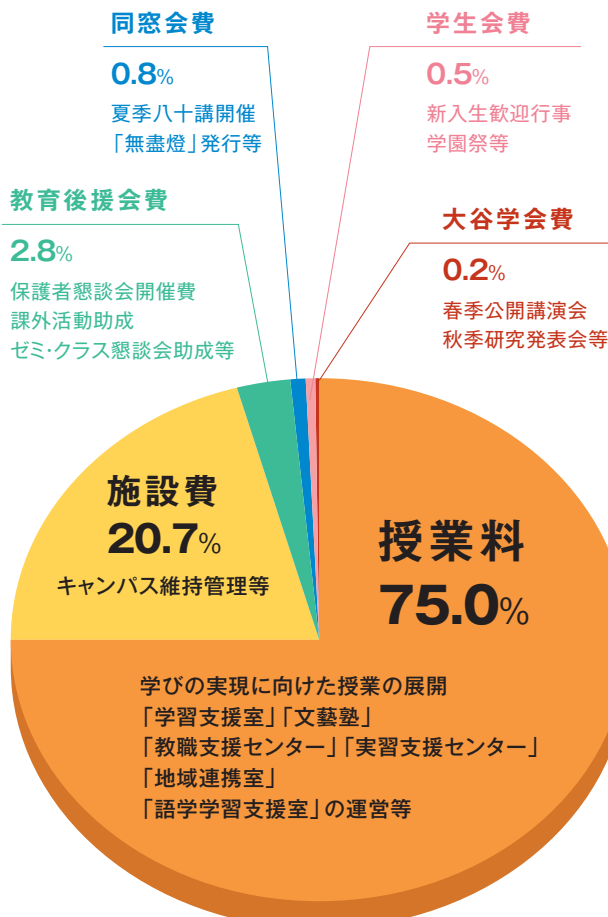
● 学生会費

学生相互の自治に基づき学生生活全般の発展向上を目的として組織され、学生全員が構成員となります。学生会を基盤として、各課外活動団体が組織運営されています。また、学生会員の日常生活の安定を図るための諸事業や、新入生歓迎行事、学園祭等の行事を行っています。

● 大谷学会費

本学の学術研究の推進及びその成果の公開を目的として、春季公開講演会や秋季研究発表会を行っています。それらは、「大谷学報」や「大谷大学研究年報」にまとめられて、配布されています。

納付金（学費）内訳



→ 詳しい情報は… 大谷大学ホームページ
<http://www.otani.ac.jp/gakuhi18>

教育後援会だより

2017年度 教育後援会事業について(報告)

全国保護者懇談会開催

2017年9月23日(土・祝)、本学を会場に「大谷大学教育後援会全国保護者懇談会」が開催され、全国から約300名を超える保護者の皆様に参加されました。

大学現況報告(講堂)では、教育後援会役員の開会挨拶に始まり、木越康学長から本会開催の趣旨を説明しました。続いて、宮崎健司学監・副学長から「新たな学びのかたち」と題して、学習支援室や文藝塾、地域連携室の取り組みについて報告し、箕浦曉雄学生部長からは、学生が豊かに学べるためのサポート体制や、心身のケア体制について伝えました。また、学生支援部キャリアセンターからは、就職状況の現状報告や保護者と学生との連携の必要性について説明をしました。

講堂での現況報告の後、新教室棟「慶開館」へ会場を移し、個別相談会等を実施しました。

個別相談では、学科別の「教員との個別相談」の場が設けられ、保護者は学生の担当教員(指導教員)より、学生の授業中の様子などを熱心に聞いておられました。

その他、「成績・進級」「学生生活」「学生相談員との面談」「進路・就職」「入試相談」「海外留学」の各コーナーが設けられ、多くの相談が寄せられました。

多くのご出席をいただいたことで、ご相談までにお時間をいただいた方もおられました。和やかな雰囲気となりました。



全国保護者懇談会 大学の現況報告の様子

中国・四国地区保護者懇談会開催 大谷大学フェア(中国・四国)開催

2017年12月2日(土)、広島市において「中国・四国地区保護者懇談会」が開催されました。懇談会では、学長から大学の教育目標・教育研究活動の現況について報告がなされ、学生支援部職員からは、履修状況の確認方法や、クラブ活動、奨学

金制度などの学生生活のサポート体制について、さらに、近年の当該地域での就職状況の傾向や支援体制についての説明を行いました。

その後の個別相談では、学生の履修状況や就職活動状況などのデータに基づき、学生支援部職員が一人ひとりの相談に応じました。

また、今回は「大谷大学フェア(中国・四国)」と銘打ち、保護者懇談会と併せて、中国・四国地区の同窓生や一般の皆様にもご出席いただき、公開講演会も実施しました。

講演会の後に行った懇親会においては、保護者や同窓生が楽しく懇談する姿が見られ、同窓会地域支部の各支部長や、保護者の皆さまからコメントをいただき、会場は大いに盛り上がりました。



中国・四国地区保護者懇談会
個別相談の様子



大谷大学フェア(中国・四国)
公開講演会の様子

恒常的な補助について

恒常的な補助として、2017年度も、課外活動団体への活動補助、筆記試験対策・面接実践講座など就職支援に対する補助、各種奨学金や奨励金の給付・貸与が行われました。

※その他の事業につきましては、8月発送予定の「教育後援会報告書」にてご報告いたします。

2018年度 教育後援会行事について(お知らせ)

2018年度は下記のとおり行事を開催する予定としております。

全国保護者懇談会
9月22日(土) 大谷大学
近畿地区保護者懇談会 ※
7月8日(日) TKPガーデンシティ新大阪<大谷大学フェア(近畿)開催>
東海地区保護者懇談会 ※
岐阜会場 7月21日(土) 岐阜商工会議所<大谷大学フェア(東海)開催>
静岡会場 7月22日(日) 中島屋グランドホテル
東北・関東地区保護者懇談会 ※
東京会場 8月25日(土) CONFERENCE BRANCH 銀座
宮城会場 8月26日(日) メルパルク仙台<大谷大学フェア(東北)開催>

※...該当地区に在住の保証人へ案内。
・大谷大学フェアでは、公開講演会、進学相談会を開催。
・会場については変更になる可能性があります。
ホームページまたは案内状をご確認ください。

教育後援会

大谷大学教育後援会は、全在学生の保証人が会員となって組織され、大谷大学の教育・研究の発展と、学生生活環境の整備・改善に支援を行っています。また、会員相互ならびに会員と大学との交流を深めることも目的に、各種の活動を行っています。なお、毎年、役員会・評議員会を開催してさまざまな事業を企画・推進しています。

→ 詳しい情報は… 大谷大学ホームページ <http://www.otani.ac.jp/kouyuu>

教育振興資金(募金)について

2017年7月1日から2018年1月31日までの間、教育振興資金局へご寄付いただいた方々のご芳名は左記のとおりです。

このたびは、募金活動にご協力いただき、ありがとうございます。ご寄付いただきました資金は、教育・研究の充実を図るための環境整備に充ててまいります。

今後もし引き続き、募金のお申し込みを受けつけておりますので、ご支援賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

大谷大学キャンパス総合整備・新教室棟建築資金(募金)について

現在進行しております、キャンパス総合整備・新教室棟建築にかかる募金につきましては、2018年2月に別途お送りいたしました募金趣意書をご確認ください。また、既にこの建築資金のためのご寄付をいただいた方へは厚く御礼申し上げます。建築資金としてご寄付いただいた方のお名前については、左記の「教育振興資金寄付者」一覧とは別に、別途名簿を作成する予定です。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

税法上の優遇措置について

本学は文部科学大臣から、特定公益増進法人の証明(所得控除制度)、ならびに税額控除にかかる証明(税額控除制度)を受けております。そのため、寄付者(個人)の選択により、どちらか一方の税法上の優遇措置を受けることができます。

教育振興資金寄付者 (敬称略)

【個人】

小野 貴史 (神奈川県)

松浦 清顕 (大阪府)

【法人・団体】

株式会社 類設計室 (大阪府)

代表取締役 岡田 淳三郎

有限会社 石間企画事務所 (東京都)

代表取締役 石間 裕

◆件数 4件

◆寄付金総額 6,020,000円

お問い合わせ先

教育振興資金事務局 〒603-8143 京都市北区小山上総町 大谷大学総務部校友センター
TEL: 075-411-8124 FAX: 075-411-8157 E-mail: kouyuu@sec.otani.ac.jp

北区北大路ローカルライフ

赤澤ゼミでは、大学周辺のお店や地域活動をコミュニティラジオや情報サイトで紹介する取り組みを行っており、取材で学生と北区北大路エリアをよくウロウロしている。この地域はチェーン店が少なく、個人営業の小さなお店が多い。地元から長年愛される喫茶店や洋食屋さん、和菓子屋さんなどのほか、実は二十代から四十代の若い世代が営む個性的なお店も増えている。古い木造の建物を改装した趣のあるゲストハウスやカフェ、素材や製法にこだわるパン屋さんや惣菜屋さん、ものづくりの匠が営む工房など実に多様だ。「なぜ、この地でお店を？」と

尋ねると、「市内中心部より家賃が手頃」という理由もあるが、「丁寧につくったものの価値をわかってくれるお客さんが多い」、「好きなことをやっても許される雰囲気がある」、「お客さんとの交流が楽しい」、「地元の人に来ていただけるお店にしたい」、「家族との時間も大切にしたい」という声が多かった。売上よりも自身の仕事へのこだわりや、顔の見える関係づくり、ワークライフバランスに重きを置くという価値観だが、これらは

グローバル化・効率化が進む社会への反作用として、近年、広がりを見せている若者の「ローカル志向」と実に合致している。

かく言う私も4年前の春、この大学に赴任したが、まちなかでありながら自然が多く、市内中心部とは違うゆとりとした雰囲気魅せられ、早々に住まいも移した。近頃は2歳の息子と鴨川べりで外遊びをしたり、商店街の喫茶店でお店の方や常連のお客さんと息子の相手をしてもらいながら、ゆっくりコーヒーをいただいたり、深夜まで営業の銭湯でリフレッシュしたりとローカルライフを満喫している。

地下鉄を使う学生のみならず、すぐに地下鉄への階段を降りるのはもったいない。一歩足を伸ばしてみよう。キャンパスライフに加えて、ぜひ充実したローカルライフも送ってほしい。



社会学部 コミュニティデザイン学科
准教授
赤澤 清孝 先生
専門分野/地域政策学(まちづくり)

時代を照らす仏教のことば

幸福の秘訣は、

こういうことだ。

あなたの興味をできるかぎり

幅広くせよ。

バートランド・ラッセル
『ラッセル 幸福論』 岩波文庫 172頁

編集後記

今号では、2018年4月から3学部体制をとる本学の学びについて取り上げました。本学では2018年4月から新教室棟の慶聞館が全エリアでグランドオープンし、過ごしやすい空間とともにさまざまな活動をサポートする環境が整いました。在学生の皆さんが本学での学びを基盤とし、自分自身の道を切り拓いてくれることを願っています。

(編集担当)